

# インターホンリモコン 設置工事説明書

## 工事される方へ

- 機器を正しく安全に使用していただくために、この設置工事説明書をよくお読みになって指定された工事を行ってください。
- 本品を指定する機器にご使用ください。

※このリモコンは旧通信方式のリモコンです。接続する機器によっては、機器本体の設定切替が必要となります。切替方法については機器の工事説明書をご確認ください。

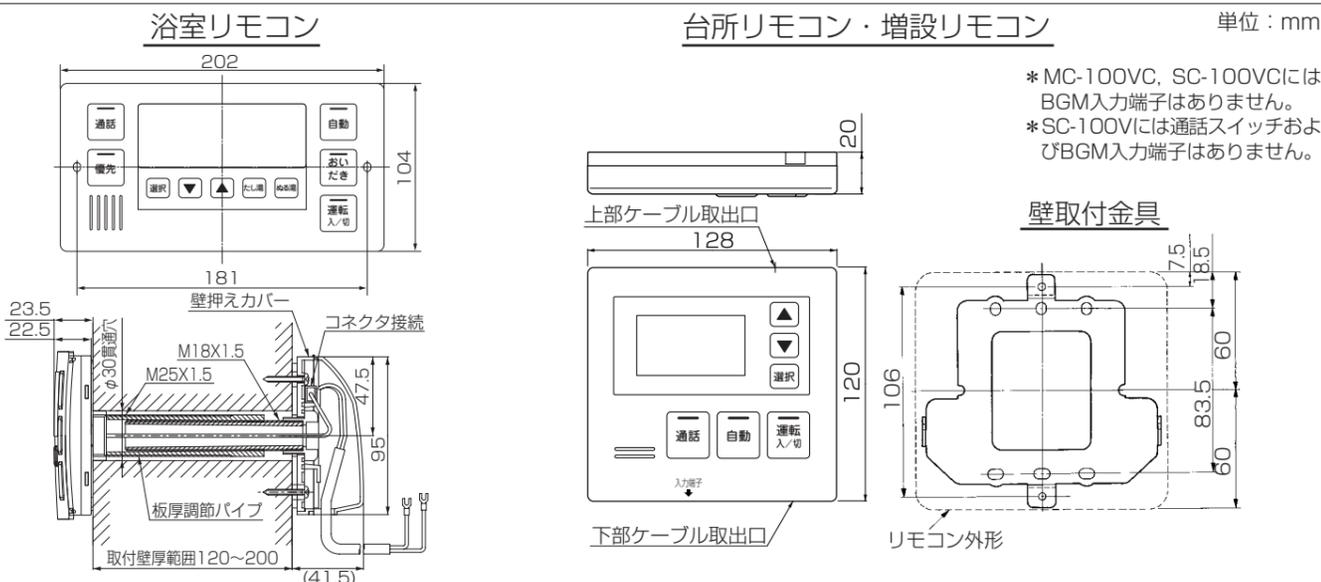
## 1 設置前の確認

- 機器本体からリモコンまでの接続線は24V以下ですので、この配線工事は「小勢力回路の工事」に該当し、電気工事士の資格がなくても工事できますが、電気設備技術基準に合った電気工事で施工してください。
- 2心ケーブルは他の電気製品の電源コードと離して配線してください。洗濯機・冷蔵庫・衣類乾燥機などの電源コードと近接・併走配線すると、機器が作動しないことがあります。また、テレビ・ラジオ・ステレオなどの電源コードと接近して配線すると、テレビなどの画像・音声にノイズ(雑音など)が入ることがあります。
- 2心ケーブルが余る場合は、機器の外にて処理してください。(機器の中へは絶対に押し込まないでください)
- 2心ケーブルを機器本体と接続するときは、機器の電源プラグが抜いてある(分電盤の専用スイッチが「切」になっている)ことを確認してから行ってください。
- 下記の場所には取り付けしないでください。
  - ・ 温度が高くなる場所
  - ・ 直射日光のあたるところ



- ・ 湯気のかかるところ
- ・ 油のかかるところ
- ・ 水しぶきのかかるところ…浴室リモコンの場合でも、シャワーのお湯などが直接かかるところは避ける。
- ・ 段差のある壁面(ケースが変形して不具合が発生することがあります)
- ・ 特殊薬品を使用するところ(ベンジン・アルコール・油脂系の洗剤等)
- 浴室リモコン以外は、絶対に浴室内に設置しないでください。
- 壁面埋込配線の場合は、最初にリモコン取り付け壁面から2心ケーブルが引き出されていることを確認してください。
- 音声スピーカーが搭載されているリモコンに金属屑が付着すると音割れなどの原因になります。リモコンに金属屑などが付着しないように、壁に取付ける直前に包装材を外してください。
- 台所リモコンを、無線子機を持つドアホンなど常時電圧を発生する機器の近くに設置しないでください。BGM入力機能を使用するときに浴室リモコンから雑音が聞こえることがあります。

## 2 外形寸法図



- 注1. 浴室リモコンは入浴したまま操作できるよう、浴槽エプロンより少し上の、目の高さ程度の位置に取り付けてください。
- 注2. リモコン間の距離が近い場合、ハウリング(キーンなどの大きな音がする現象)を起こすことがあります。工事の前に仮配線を行って支障なく通話できることを確認してください。なお、浴室と台所が近い間取りで扉を開けたまま通話テストを行うと、ハウリングが起きることがあります。通話テストは必ず浴室の扉を閉めた状態で、2人で行ってください。
- 注3. 台所リモコン・増設リモコンの表示部は液晶を使用しています。この液晶には視野角がありますので、目の高さより下にリモコンを取り付けてください。
- 注4. 台所リモコンの底面にBGM入力端子があります(MC-100VCにはBGM入力端子はありません)。音楽プレーヤーなどの接続コードをお客様が容易に抜き差しできるように、台所リモコンは、その下方に十分な空間(20cm以上)を確保して取り付けてください。
- 注5. リモコン本体は、取り付け工事の際に取りはずすカバー以外絶対に分解しないでください。故障の原因となります。
- 注6. 上図および本文中のリモコンのイラストは、一例としてBC-100VC(A)、MC-100VC(A)を示したものです。他の型式のリモコンのデザインは、これらのイラストとは異なります。



070 00012 55068 8

U220-1508×05(01)

## 3 付属部品

● 梱包内には下記の付属部品が入っています。設置工事の前にご確認ください。

### 浴室リモコン

部品名	形状	個数	備考
リモコン本体		1	
パッキン		1	両面離型紙付
⊕木ねじ φ3.8×25		2	
オールプラグ		2	
ケーブルクランプ 3N		5.3	1 UC-25Cケーブルを単独でクランプするとき使用
ケーブルクランプ 5N		8.4	1 UC-27Cケーブルを単独でクランプするとき使用

※UC-27ケーブルとUC-27Cケーブルを3本一緒にクランプするときはケーブルクランプ10Nを使用してください。

### 増設リモコン

台所リモコンと同様の付属部品が入っています。(ケーブルクランプは6N・7N・10N各1個が入っています)

部品名	形状	個数	備考
ケーブルクランプ 7N		12.2	1 UC-25ケーブルとUC-25Cケーブルを3本一緒にクランプするとき使用

※UC-27ケーブルとUC-27Cケーブルを3本一緒にクランプするときはケーブルクランプ10Nを使用してください。

## 4 別売部品

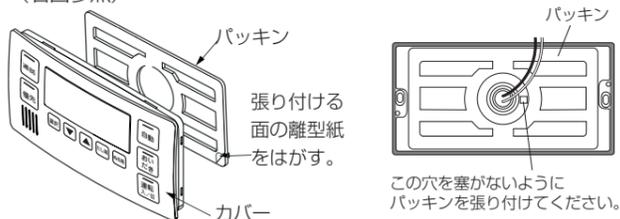
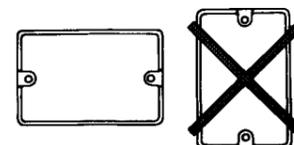
● 別売部品は機器の必要に応じ別途お買い求めください。

名称	型式
コネクタ付2心ケーブル (浴室リモコン用)	UC-25C-□□ UC-27C-□□ (リモコン側…2Pコネクタ) (機器側…Y型端子)
2心ケーブル (台所・増設リモコン用)	UC-25-□□ UC-27-□□ (リモコン側…Y型端子) (機器側…Y型端子)

## 5 浴室リモコンの取り付け工事

### スイッチボックスに取り付ける場合

- スwitchボックスはJIS C 8340の1個用スイッチボックス(カバー付き)ーコンクリート壁用または、1個用スイッチボックス(カバーなし)ー木造真壁用をお使いください。
- スwitchボックスは横向きに施工してください。縦向きでは施工できません。
- ①浴室リモコン取り付け壁面よりケーブルが引き出されていることを確認してください。
- ②リモコン本体裏面に付属のパッキンを張り付けてください。(右図参照)



### 台所リモコン

部品名	形状	個数	備考
リモコン本体		1	
壁取付金具		1	
⊕小ねじ M4×10		2	
⊕木ねじ φ4.1×25		2	
オールプラグ		2	
⊕小ねじ M4×25		2	スイッチボックス用
ケーブルクランプ 6N		10.6	1 UC-25および25Cケーブル2本を一緒にクランプするとき使用
ケーブルクランプ 10N		16.0	1 UC-27および27Cケーブル2本を一緒にクランプするとき使用

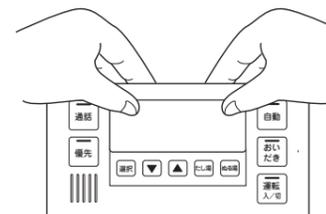
※ケーブルクランプは機器側で使用するものです。機器の設置工事説明書をお読みください。

※リモコンの変形や取付け不良の原因となりますので、ねじ類は必ずリモコンに付属のものを使用してください。

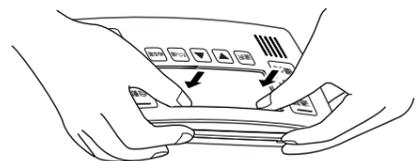
名称	型式
コネクタセット	UX-2-C (UC-25-50・UC-25-100・UC-27-50・UC-27-100を浴室リモコン用に改造する場合に使用)
BC壁貫通取付セット	BC-KT-3
リモコン壁厚 調節パイプ	取付壁厚(mm) 190~280 280~370 RF-2001 (標準品はBC-) RF-2002 (KT-3に付属)

- ③浴室リモコンの2Pコネクタをコネクタ付2心ケーブルの2Pコネクタに接続してください。
- ④カバーを取りはずしてください。

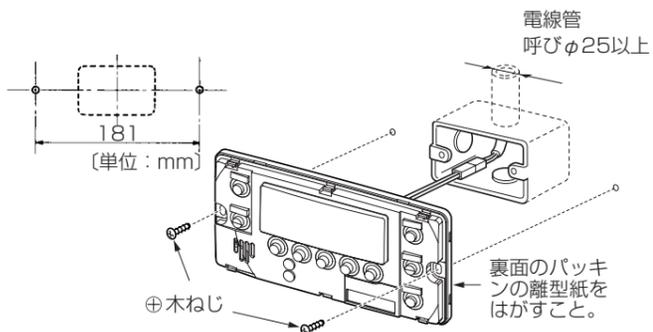
- ◆リモコンのカバーを取りはずす際には、以下の要領をお願いします。
- リモコンを平らな面に置いてから、イラストのようにカバーの上部に指をかけます。



- そのまま親指で本体表示部を押すとカバーが簡単にはずれます。(左右均等に力を入れてください)  
(その際、カバー上部の溝に人差し指のツメをかけて広げるようにすると、さらに簡単にはずれます)

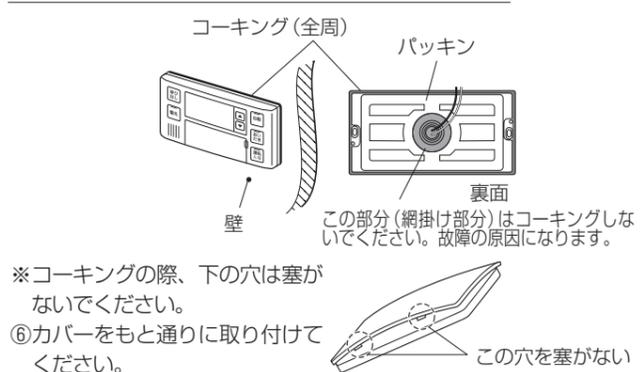


- ⑤浴室リモコンを壁面に付属の⊕木ねじにて固定してください。壁(または壁の素地)がコンクリート・ブロックなどの場合はオールプラグ用穴(φ6、深さ25mm以上)を2カ所あけ、オールプラグを入れてから、付属の⊕木ねじにて固定してください。



- 注) 木ねじを締め付ける際、インパクトドライバーは使用しないでください。樹脂が変形して不具合が発生することがあります。また、トルク規制ができるドリルドライバー(ドライバードリル)の場合は、0.49N・m(5kgf・cm)以下のトルクで締め付けてください。

- 注) パッキンの離型紙を取ってから取り付けしてください。  
注) 必ずコーキング剤で全周コーキングしてください。

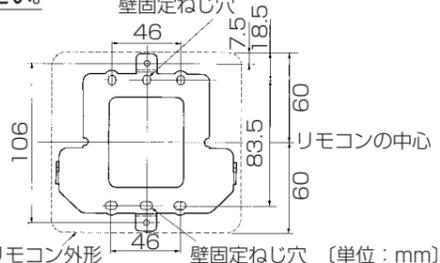


## 6 台所リモコン・増設リモコンの取り付け

### 露出配線で台所リモコン・増設リモコンを木壁面やコンクリート壁面に取付ける場合

- ①壁取付金具を壁面に付属の⊕木ねじにて固定してください。壁(または壁の素地)がコンクリート・ブロックなどの場合はオールプラグ用穴(φ6、深さ25mm以上)を2カ所あけ、オールプラグを入れてから、付属の⊕木ねじにて固定してください。MC-60V3など、従来の壁取付金具とは互換性がありませんので、既に取り付いている壁取付金具は取り替えてください。

- 注) 木ねじを締め付けすぎると壁取付金具が変形する恐れがありますのでご注意ください。取付け後は壁取付金具と壁にすき間がないことを確認ください。



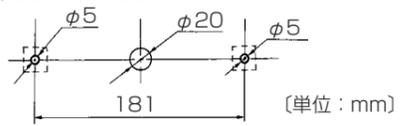
リモコン外形 (単位: mm)

### 壁貫通式の場合

- 別売の「BC壁貫通取付セット(BC-KT-3)」が必要です。工事方法はBC-KT-3の設置工事説明書をご覧ください。

### ユニットバスに取り付ける場合

- ①取り付ける壁面にケーブル取り出し用の穴1個と浴室リモコン取り付け用の穴2個をあけてください。



- ②浴室リモコン取り付け用穴の外側に補強用の木片を取り付けてください。

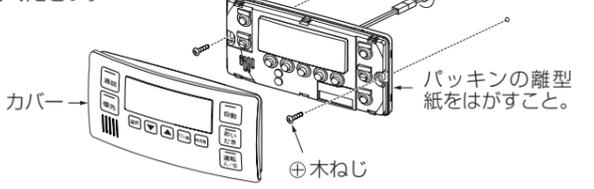


- ③ケーブル取り出し用の穴にコネクタ付2心ケーブルを通してください。



- ④リモコン本体裏面に付属のパッキンを張り付けてください。
- ⑤浴室リモコンの2Pコネクタを、コネクタ付2心ケーブルの2Pコネクタに接続してください。

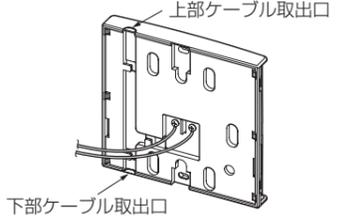
- ⑥カバーを取りはずしてください。「スイッチボックスに取り付ける場合」の④参照
- ⑦浴室リモコンをユニットバス壁面に付属の⊕木ねじ2本にて固定してください。



- 注) 木ねじを締め付ける際、インパクトドライバーは使用しないでください。樹脂が変形して不具合が発生することがあります。また、トルク規制ができるドリルドライバー(ドライバードリル)の場合は、0.49N・m(5kgf・cm)以下のトルクで締め付けてください。

- 注) パッキンの離型紙を取ってから取り付けしてください。  
注) 必ずコーキング剤で全周コーキングしてください。  
※コーキングの際、下の穴は塞がないでください。  
(「スイッチボックスに取り付ける場合」の⑥注 参照)  
⑧カバーをもと通りに取り付けてください。

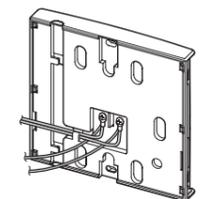
- ③ケーブル取出口(上部または下部)をラジオペンチなどで割り取ってください。



- ④上部取出口のときは2心ケーブルの外側の被覆を約140mmむいてください。(下部取出口の場合は約80mmむいてください)

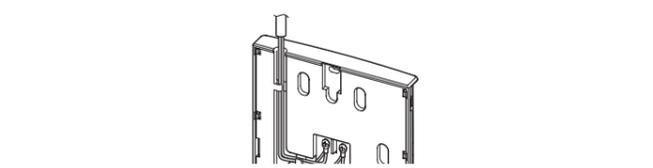


- ⑤2心ケーブルのY型端子をリモコン裏面の端子に接続してください。

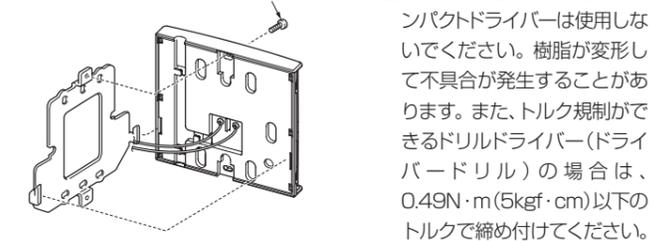


- ⑥2心ケーブルをケースのツメにひっかけて固定してください。  
※以下のイラストは上部ケーブル取出口を使用する場合のものです。下部ケーブル取出口を使用する場合も同様の手順で行ってください。

- ※2心ケーブルの外側の被覆が完全にケースから出ていることを確認してください。樹脂が変形し不具合が発生することがあります。



- ⑦壁取付金具にリモコンを取り付け、付属の⊕小ねじ(M4×10)で固定してください。



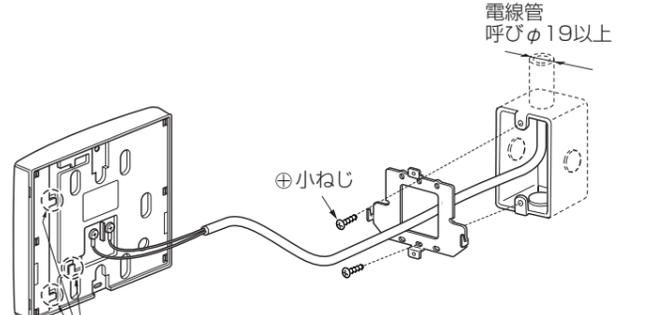
- ⑧カバーをもと通りに取り付けてください。

## 7 2心ケーブルについて

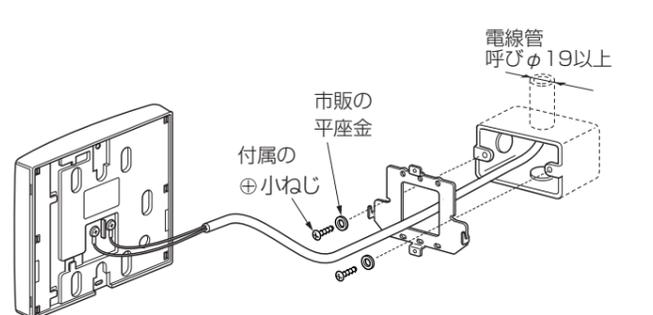
- ケーブルは別売の専用2心ケーブル(台所リモコン・増設リモコンはUC-25-□□またはUC-27-□□、浴室リモコンはUC-25C-□□またはUC-27C-□□)を使用してください。
- パイプシャフト設置・パイプシャフト扉内設置の場合は必ずUC-27-□□・UC-27C-□□を使用してください。
- 市販のケーブルが使われる場合は、JIS C 3312に合格のVCTまたはJIS C 3306に合格のVCTFを用い、仕上外径9mm以下をご使用ください。
- 心線の公称断面積が0.5mm<sup>2</sup>より小さいケーブルは故障の原因となりますので使用しないでください。
- ケーブルにY型端子をかきしめる際、心線のヒゲなどが出ていると、端子に接続したときヒゲがもう1本のケーブルと接触してショートすることがあります。これは機器が正常に作動しないばかりでなく、機器本体の電装ユニットの故障にもつながりますので、心線のヒゲには十分にご注意ください。

### 壁内埋込配線で台所リモコン・増設リモコンをスイッチボックスに取り付ける場合

- ①カバーを取りはずしてください。
- ②壁取付金具を付属の⊕小ねじ(M4×25)にて、スイッチボックスに取り付けてください。



- このツメは露出配線用です。スイッチボックスに取り付ける場合は、ケーブルをひっかけないでください。露出配線以外でこのツメを使用すると不具合が発生することがあります。



- スイッチボックスが横向きの場合は壁取付金具の横の切欠きを使って、市販の⊕トラス小ねじ(または付属の⊕小ねじ+市販の平座金)にて固定してください。(⊕トラス小ねじ・平座金は付属していません)

- ③2心ケーブルのY型端子をリモコン裏面の端子台に接続してください。
- ④壁取付金具にリモコンを取り付け、付属の⊕小ねじ(M4×10)で固定してください。

- 注) ⊕小ねじを締め付ける際、インパクトドライバーは使用しないでください。樹脂が変形して不具合が発生することがあります。また、トルク規制ができるドリルドライバー(ドライバードリル)の場合は、0.49N・m(5kgf・cm)以下のトルクで締め付けてください。

- ⑤カバーをもと通りに取り付けてください。

- 注) リモコンを壁に固定するときに、ケーブルが壁とケースの間に挟み込まれると、樹脂が変形し不具合が発生することがあります。特に壁埋込配線でスイッチボックスを使わずに施工する場合は、よく確認して設置してください。

- ケーブルは直接熱の影響を受けないところに配線してください。
- ケーブルをコンクリートなどに埋め込む場合には、電線管などに収めてケーブルに傷がつかないように保護してください。  
・メタルラスなどを有する壁を貫通する場合は、メタルラスなどと金属電線管が接触しないように十分距離を確保してください。
- 各リモコンの2心ケーブルの長さは25m以内とし、ケーブル線の総延長が50m以内になるように配線工事を行ってください。  
・ケーブル線径と電線管の関係  
ケーブル線を電線管に入れて配線する場合は、ケーブル仕上外径は、端子をケーブルにかしめる前と後では異なりますので注意してください。  
・コネクタ付2心ケーブルの場合は2Pコネクタがあるため電線管呼びφ25以上をお使いください。  
・2心ケーブルの場合は電線管呼びφ19以上をお使いください。